

お知らせ

平成 26 年度 夏季セミナー

公益社団法人 日本放射線技術学会 近畿部会

部会長 錦 成郎

学術委員会

現在の医療において放射線を用いた画像診断・治療支援はなくてはならないものですが、年々医療被ばくの増加が指摘されているのも事実です。近年各メーカーとも被ばく線量低減技術に力を入れ、各機器に搭載されていますが、私たちは本当にその特性を理解し適切に使用できていますでしょうか。（機能を過信しすぎて）線量を下げ過ぎ、診断に影響するような画像を提供していませんか。またその判断はどのようにおこなっているのでしょうか。

一方で技術や画質を重視するあまり、患者の立場から被ばくを考えることを忘れていないでしょうか。目に見えない放射線に怯える患者の不安を、私たちは的確に理解できていますでしょうか。

今回のセミナーでは、被ばくによる影響を再認識し、各メーカーの被ばく低減技術、各モダリティにおける現状と取り組み、放射線カウンセリング、そして診断する医師側から見た検査と被ばくと画質について講演を行っていただき、理解を深めることを目的としています。多数の皆様の参加をお待ちしています。

記

テーマ：『被ばく低減技術』

日時：平成 26 年 7 月 5 日(土)13 時～ 6 日(日)11 時 45 分

会場：大和高原ボスコヴィラ

〒632-0251 奈良県奈良市針町 3918 TEL 0743-82-5556

参加費：① 講演会+宿泊(1泊2食込) 会員 13,000 円 非会員 19,000 円
② 講演会(2日間共通)+夜学(夕食込) 会員 8,000 円 非会員 12,000 円
③ 講演会のみ(2日間共通) 会員 3,000 円 非会員 6,000 円

募集人数：宿泊あり 80 名、宿泊なし 30 名

(申し込み多数により参加いただけない場合には連絡します。)

申込期間：平成 26 年 5 月 12 日(月)～ 6 月 8 日(日)

申込方法：近畿部会ホームページの参加申し込みフォームよりお申込みください。

問合せ先：E-mail sciences@jsrtkinki.jp にお問い合わせください。

URL：近畿部会ホームページ <http://www.jsrtkinki.jp>

プログラム：

【1日目】

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～14:10 『UNSCEAR 2008 のデータからみる我が国の医療被ばくの現状』

浜松医科大学医学部附属病院 竹井 泰孝

14:15～15:55 『各機器メーカーにおける医療被ばく低減技術』

GE ヘルスケア・ジャパン(株) 井下 裕之

(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン 早坂 和人

東芝メディカルシステムズ(株) 右近 弘栄

シーメンス・ジャパン(株) 谷川 光

16:00～17:00 『医療被ばく相談の在り方を考える ～放射線カウンセリングとは～』

松下記念病院 小松 裕司

【夜学】 グループワーク

20:00～22:00 『実践！ 医療被ばく相談におけるカウンセリング的対応』

松下記念病院 小松 裕司

【2日目】

9:00～10:30 『各モダリティにおける医療被ばく低減技術の実践』

・ 一般撮影部門： 奈良県立医科大学附属病院 中前 光弘

・ CT 部門： 大阪医科大学附属病院 吉川 秀司

・ 血管造影部門： 大阪市立大学医学部附属病院 市田 隆雄

10:40～11:40 『CT 検査の現状：被ばく低減技術と画像診断：リスクとベネフィットの担保』

国立成育医療研究センター 宮寄 治

11:40～11:45 閉会挨拶

※プログラムが変更になることがありますので、最新の情報は近畿部会ホームページにてご確認ください。